

ポスト新幹線時代における函館観光の課題

【課題1】「次の時代への進化」とその発信が足りない

- ◇新幹線は日常の風景となり、次の時代への進化が期待されている。
- ◇世界的観光地として飛躍できる潜在力があるのに、それを活かせていない。

〈対策例〉

- ・「世界遺産候補・縄文遺跡」、「国宝・中空土偶」を活かしたブランド形成
- ・道南エリアの連携強化（「函館」＋自然リゾート＝総合力を備えた観光地）
- ・若い世代の創客

【課題2】意欲ある人材が活躍できていない

〈対策例〉

- ・観光業界を牽引する人材育成の仕組み検討
- ・ガイドの育成

【課題3】デジタル社会への急速な移行に対応できていない

〈対策例〉

- ・ウェブサイトの高度化
- ・デジタルマーケティングの進化
- ・AI・IoTの活用

【課題4】消費拡大の取組が不足している

〈対策例〉

- ・富裕層向けコンテンツの開発
- ・宿泊率の向上
- ・若い世代の創客 ※再掲

【課題5】「観光地経営」の視点に立った取組ができていない

- ◇多様な観光関係者間の合意形成，データに基づく戦略策定，PDCAサイクルの確立等

〈対策例〉

- ・ビッグデータ等を活用した科学的マーケティングに基づく観光地域づくり
- ・観光関係機関の有機的連携に基づく全体最適化
- ・日本版DMOの形成検討